

第 1 回通学区域審議会

資料 1

日時：令和 6 年 6 月 24 日（月）午後 7 時～8 時 30 分

場所：結とぴあ 201・202 号室

（１）教育委員会からの諮問について事務局から説明

（２）委員からの主な意見

主な意見等	
・仮に幸町、弥生町 1 区・2 区、東中の児童が有終南小学校に行くことになった場合の児童数の資料を用意してもらいたい。令和 8 年 4 月から小山小学校も有終南小学校に行くことになるが、その数も含めて相対的な数を一覧で示してほしい。	
・有終東小学校、有終南小学校が、現在の場所にできた当時も、この区域分けというのは同じだったのか。また、小学校からの距離についての資料もあると良い。	・審議を進めるにあたって、こちらで一方向的に思っている資料より、皆様が必要と思う資料を準備したいと思うので、要望があれば言っていたきたい。
・前回の審議の時には、有終西小学校の P T A からのアンケートなどを参考にさせていただいたが、今回はアンケートをとる予定はあるか。	・保護者の声や子どもの声が聞きたいとか、これから小学生になる子どもを持つ保護者の方の意見を伺いたいということを要望していただければ、事務局でアンケートや座談会などを検討したいと思う。
・有終東小学校の児童の通学区域に限定して考えるということか。中学校区は関係ないという認識で良いか。有終東小学校の児童の通学区域を、このままにするか、どこか変更するかという議論と取れば良いか。	・有終東小学校区ではなく、有終東小学校に通う児童、卒業する児童の通学区域という捉え方をしていただきたいので、小学校区についての議論や、中学校区についての議論をしていただきたいと考えている。今回は有終東小学校に限定して検討していただきたい
・有終西小学校の時とは違うと捉えれば良いか。例えば有終東小学校に通っている児童はすべて陽明中学校に進学することとするというような答申も含めて考えていくのか。有	・今回は、中学校区とか小学校区という記載はしていない。あくまでも有終東小学校児童の通学区域ということなので、小学校区、中学校区、両方含めて検討をお願いできればと考え

終東小学校区の見直しをすることも含めて考えていくのか。 ・児童、保護者、それから今後就学される子の保護者へアンケートをとっていただきたい。この審議会が始まったことは、校区の皆さんはご存じなのか。アンケートを取ることにしても、混乱はないか。 ・本日を含めて、6回の審議ということになっているが、もし審議が2回で済んだら、10月は審議会がないと理解すれば良いか。 ・今回の諮問というのは、どこからか教育委員会への要望があって動き出したものなのか、有終西小学校が変わったという実態を受けて、能動的に教育委員会が動き出したことなのか。これまでも校区の見直しをして欲しいという要望がこの50年の間にあったのか。 ・なぜ有終東小学校や有終南小学校の校区をこの線引きで決めたのかというような当時の資料があれば知りたい。 ・昨年度は有終西小学校を卒業する児童が進学する中学校の通学区域についての諮問だったのに、なぜ今回の有終東小学校に関しては、中学校の通学区域というのが入っていないのか。	ている。 ・有終東小学校のPTA総会で、本年度、有終東小学校の通学区域について検討させていただきたいというお願いをしている。かなりの保護者の方がご存じだと思うので、アンケートの時にそれほど混乱することはないと思っている。 ・審議会が短縮されることは起こり得ると思う。追加の審議会をする必要がないように、できるだけ具体的な資料をそろえて、最大のスケジュールが6回ということをお願いしたいと思う。 ・教育委員会としてこの件について検討する必要があると強く思っている。学校再編が進んでいく中で、それに付随する教育環境もしっかり整備していきたい。その一環として、有終西小学校があり有終東小学校があるという理解でお願いしたい。 ・有終西小学校の場合は、卒業した進学先の中学校へほぼ半数に近い人数で分かれているので、小学校の通学区域を変えることが非常に難しいだろうし、どちらかの中学校に進学するということを考えた方が良いのではないかとということになった。有終西小学校のPTAの方から、アンケート調査の結果をいただいたということもあり、有終西小学校については、学校の立地や様々なことを考えると、中学校に絞って検討しようということになった。有終東小学校については、地理的な条件や、特
--	--

・大野市が掲げる１８年をつなぐ教育、子どもたちが途中で離れてしまうのを防ぐための会議だと思っていた。あらゆる条件を加味して考えていくと聞いて、小学校の区域を変更しても、中学校に行って離れ離れになるのならいかなものかと思う。 ・小学生保護者のアンケートや、保護者の意見を聞く会はもちろんだが、就学前の子どもがいる保護者への説明や、意見を聞く会も持ってもらいたい。おそらく小学校卒業後に進学先が２つに分かれることについての議論と思っている保護者が大勢いると思う。その辺りを事前に説明してもらえると良い。 ・スケジュールについて、アンケートをとったり、保護者や就学前の保護者の意見を聞いたりすることになると、第２回目までにということは可能か。それから、共通理解を得るために、何について審議するのかという考え方について整理していただくと良いと思う。 ・対象地区の中で見守りをしている方や、その他いろんな人の意見を聞くことが必要だと思う。もし小学校が変わるようなことになると、中学校が変わることとはまた少し話が違ってくると思う。該当地区の方の意見なども聞いてみたい。 ・いろんな方を交えないと、この審議会だけで決めるのは少し厳しいのではないかと思う。 ・校区というのはどこかで線を引かないと難しいものがあるので、その辺りは致し方がないと思う。実際にそこに住んでいる方や、地域の方の意見というのはすごく大切なので、	段、要望が出てきている訳でもないということから、あらゆる可能性を排除せずに検討したいと考えている。 ・今日の審議での意見を十分精査させていただいて、事務局で、資料収集のスケジュールなども検討し、会長、副会長とも相談させていただいて、丁寧に進めたいと思っている。
---	--

中学校に行く時に分かれてしまう校区の方たちが、小学校区も含めてどのように考えているのか、議論や合意が必要だと思う。 ・中学校として、子どもたちが専門教科の教員を揃えた状態で十分に学べるような学校規模になるように考えていきたい。 ・委員の意見として、地域や保護者の方と、アンケートや直接の対面、対話を通して話を伺いながら進めたいということである。7月から8月にかけて第2回目の審議会という予定だが、この時期の開催は可能か。 ・児童がどのように思っているかが一番大切だと思う。スケジュールに余裕を持って、いろいろな人の意見を聞いた上で開催した方が良いと思う。 ・今後の進め方にもよるが、審議会の期限は年度末ということか。	・アンケート、直接対話など、やり方はいろいろあると思うが、次回までにアンケート調査だけを実施して集約したものを準備して、3回目の開催までに、児童の保護者や未就学児の保護者や地区の住民の方と話す機会を持つことにするなど、その辺りのスケジュールは少し検討させていただきたい。 ・年度内には教育委員会としての方針を決定したいと考えている。この審議会から答申をいただいて、それを受けて教育委員会で最終方針を決定するので、それが出来上がるのが年度末と考えている。
--	---